

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：情報化推進費

事業名 リアルタイムデータ提供基盤整備事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総合企画部未来創成局 電話番号：058-272-1111(内2724)
 デジタル戦略推進課 デジタル推進係 E-mail : c11178@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,032千円 (前年度予算額： 65,017千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	65,017	26,141	0	0	0	0	0	0
要求額	10,032	0	0	0	0	0	0	10,032
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県では、「官民データ活用推進基本法」に基づき、県が保有するデータの活用を促進するため、令和2年度に「リアルタイムデータ提供プラットフォーム」(P F)を構築し、利用者ニーズの高い河川水位や交通規制情報等の動的データを放送事業者等に提供してきたが、令和7年度にP Fを再構築し、令和8年度からは汎用性のあるデータ連携基盤として運用する。

同時に、県民に対して分かりやすく利用しやすいデータ公開の手段として、データを地図上で表示できる地図ダッシュボードを運用する。

(2) 事業内容

データ連携基盤及び地図ダッシュボードの運用保守を行う。

(データ連携基盤の機能)

- ・ 県が持つ各種システム（河川情報、土砂災害警戒情報、被害情報、道路情報、道路雪情報）とデータ連携を行い、API公開と放送事業者へのデータ提供。
- ・ 公開可能なデータを「岐阜県オープンデータカタログサイト」と連携
- ・ 連携したデータを「岐阜県地図ダッシュボード」と連携

(地図ダッシュボードの機能)

- ・ オープンデータとして公開しているデータのうち、緯度経度情報を持つデータを地図上に表示

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	10,032	データ連携基盤運用保守、地図ダッシュボード運用保守
合計	10,032	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画 (R4.3)

第2章 目指す姿と政策の方向性

I 行政のデジタル化

1 行政手続のオンライン化・業務最適化

(3) データの利活用

① DX推進のためのシステム最適化

○ ID・データ連携の在り方、AI利活用の検討

(2) 後年度の財政負担

- データ連携基盤の運用は令和8年度から令和12年度までの債務負担。

(4) 事業主体及びその妥当性

県のDX推進に係る取組み（データの利活用）であるため、県が主体となり実施することは妥当である。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「リアルタイムデータ提供プラットフォーム」を利用して、放送事業者等の民間事業者に安定した情報提供をおこなう。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
リアルタイムデータ提供基盤で提供するデータ数	8	19	10	10	10	190%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	下記5システムからリアルタイムデータの取得およびデータ提供を実施 ①河川情報システム ②被害情報集約システム ③土砂災害警戒システム ④道路情報提供システム ⑤道路雪情報システム
	指標① 目標 : <u>10</u> 実績 : <u>19</u> 達成率 : <u>190</u> %
令和5年度	下記5システムからリアルタイムデータの取得およびデータ提供を実施 ①河川情報システム ②被害情報集約システム ③土砂災害警戒システム ④道路情報提供システム ⑤道路雪情報システム
	指標① 目標 : <u>10</u> 実績 : <u>19</u> 達成率 : <u>190</u> %
令和6年度	下記5システムからリアルタイムデータの取得およびデータ提供を実施 ①河川情報システム ②被害情報集約システム ③土砂災害警戒システム ④道路情報提供システム ⑤道路雪情報システム
	指標① 目標 : <u>10</u> 実績 : <u>19</u> 達成率 : <u>190</u> %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	雨量、河川水位、道路情報など、センサー等で取得されたデータを可視化しているが、二次利用可能なデータとして、タイムラグなく提供することが求められている。
-----------	---

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 3	放送事業者等の民間事業者に対し、指標以上のデータ提供を実施している。
-----------	------------------------------------

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	避難情報、河川情報などのリアルタイムデータを放送事業者等の民間事業者に自動で配信する仕組みにより、データ提供の効率化を実現している。
-----------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

新たなデータの収集を進めるとともに、データの利活用について広く呼びかける。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

引き続き、放送事業者等の民間事業者に対し、安定したリアルタイム情報の提供を行う。